

健康研究の成果展開

弘大COIイノベーションセッションサミット

中路氏 構想 推進センター設置へ



産学官のトップが集い、パネルディスカッションなどを行ったCOIイノベーションサミット

弘前大学COIイノ30日、弘前市のホテルベーションサミットが「ナクアシティ弘前で開

かれ、弘前大学COI研究推進機構副機構長で弘前大学大学院医学研究科の中路重之研究科長が産学官の連携で「健やか力推進センター」を設置、これまで行ってきた健康寿命延伸などに関する研究成果を社会で展開していくという構想を示した。2015年4月の設立を予定している。

サミットは弘前大学や県などが主催。同大は13年11月に文部科学省などの研究開発支援事業「革新的イノベーション創出プログラム(COI STREA M)」に採択され、COI拠点として大学の研究と岩木健康増進プロジェクトで得られたビッグデータの解析から、脳卒中や認知症の予兆発見や予防法開発に取り組んでいる。中路氏は岩木健康増進プロジェクトの60項目にも及ぶビッグデータを「他にはないデータ」とし、解析を進めるとともに、新たな疾患予兆を発見する仕組みや予防法、健康に役立つアプリケーションの開発などにつなげていくという具体的な展開を示した。

研究成果を社会問題解決に生かしていく中核組織「健やか力推進センター」については昨年7月、県医師会が県に創設を提案して協力を求めている。県医師会に本部を置き、県や市町村、企業、各団体が協力して健康づくりスタッフの育成やサポートを行う予定。

サミットでは佐藤敬弘前大学長や三村申吾知事、東京大学の前総長でCOI STREA M方バニング委員長の小宮山宏氏、GEヘルスケアジャパン社長兼CEOの川上潤氏ら産学官のトップが一堂に会して意見交換。

小宮山氏は「研究と、その成果を社会問題の解決に生かす社会実装は同時に進むべきだ」と話し、弘前COI拠点の取り組みに期待を寄せた。

(今井珠世)